

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

二輪・四輪車のEV化の流れで部品点数の大幅減が予想される中、研削及び羽布研磨技術を使用した得意とする弊社事業システムの裾野を他業種部門にも広げ、これまで培った技術力と品質をさらに高め、新たな要望、社会ニーズに的確に対応していく。また、環境保全、脱炭素化が叫ばれる中、森林事業部の充実を図り、事業収益の向上を目指し、環境の保全及び循環型社会構築に貢献していく。さらに地場企業として自治体、関連企業と連携し、地元雇用も積極的に進める地域リーディング企業を目指す。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標>

三側面 (分野に☑)	SDGsに関する重点的な取組み	指標 (更新時に向けた数値目標)
☒ 環境 ☐ 社会 ☒ 経済	EV化の流れを踏まえ、自社の研削及び羽布研磨技術の強みを生かし業務の裾野を広げると共に、生産品質の向上、製品の再利用・再生化を図る。	二輪・四輪車部品以外の研削・研磨・他分野の拡大 2023年55%→2026年60%
☒ 環境 ☐ 社会 ☒ 経済	森林事業部の業務充実を図ることを通じて、伐採から植林、リサイクル、活用(おが粉)までの循環型事業を推進する。	植林面積 2023年1ha→ 2026年4ha(累計) おが粉の生産 2023年1.2t→ 2026年2.4t
☐ 環境 ☒ 社会 ☒ 経済	地元若年者雇用に向けて、インターンシップの受け入れ及び雇用を促進する。	インターンシップの受入れ人数 2023年2名→2026年6名(累計) 雇用人数 2023年1名→2026年3名(累計)

<パートナーシップ>

熊本県工業連合会並びにGamadas(ガマダス)の会員、大津町の企業連絡協議会の役員理事として、県や町、地域内企業と連携を密にし、特に異業種連携、産業活性化の面から地方創生に貢献していく。社内では部門間の連携を深め、生産性の向上と働きやすい職場環境の整備を進めていく。

・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。

・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、更新時までの数値目標を記載してください。

・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携を記載してください。

<SDGsに関するこれまでの重点的な取組み及び指標に係る進捗状況>

三側面 (分野に☑)	取組みの状況	前期の指標	実績
☒ 環境 ☐ 社会 ☒ 経済	EV化の流れを踏まえ、自社の研削及び羽布研磨技術の強みを生かし業務の裾野を広げると共に、生産品質の向上、製品の再利用・再生化を図る	二輪・四輪車部品以外の研削・研磨・他分野 2020年50% →2023年60%	50%→55%(取引先からの実際の受注量と営業力不足による)
☒ 環境 ☐ 社会 ☒ 経済	森林事業部の業務充実を図ることを通じて、伐採から植林、リサイクル、活用(おが粉)までの循環型事業を推進	3年間で8.5ha (85,000㎡)に植林 おが粉の生産 0.1t→10t/日	4ha植林。おが粉生産0.1t/月(植林が必要な現場減と機械の未導入)
☐ 環境 ☒ 社会 ☒ 経済	地元若年者雇用に向けてインターンシップの受け入れ及び雇用の促進	3年間でインターンシップ受入れ9名、雇用6名	受入れ人数6人、雇用0人(職場環境等の厳しさが影響)

・「取組みの状況」には、前回登録申請した際の重点的な取組みの実施状況や指標の達成状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。